

JForest

# 森林組合だより

令和3年6月30日

発行

第 134 号



## 第27回 通常総代会

本荘由利森林組合

由利本荘市水林381

TEL 0184-24-4141(代) FAX 0184-24-4143

HP <http://www.honmori.com/> メール [honmori@trad.ocn.ne.jp](mailto:honmori@trad.ocn.ne.jp)

# 第27回 本荘由利森林組合通常総代会 開催

令和3年5月28日（金）午後1時30分よりホテルアイリスを会場に、第27回通常総代会を開催しました。依然、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっている中、組合員の皆様の健康と安全を考慮した結果、昨年と同様に書面による議決をお願いし、当日は出席者数を最小限にしての開催となりました。

小松組合長の挨拶に続いて、仁賀保地区総代の松野勝弘氏が議長に選任され議事が進行されました。

## 【第27回 通常総代会議案】

- 第1号 令和2年度業務報告書の承認について
- 第2号 令和3年度事業計画の設定について
- 第3号 令和3年度賦課金の徴収について
- 第4号 令和3年度役員報酬について
- 第5号 借入金の最高限度について
- 第6号 債務保証の最高限度について
- 第7号 余裕金の預入先について
- 第8号 定款附属書森林組合役員選挙規程一部改正について
- 第9号 定款附属書森林組合総代選挙規程一部改正について  
付帯決議

## 《総代会出席者》

本人出席	…… 24人
書面議決	…… 229人
<hr/>	
合計	…… 253人
総代現在数	…… 298人
出席率	…… 85%



## ◎議案審議

議案第1号から議案第9号及び付帯決議までの審議が行われ、原案どおり承認可決されました。



## … 質疑応答 …

【Q】 森林経営部門の三者契約内訳でそれぞれ簿価が0円にならず、1円となっているのはなぜか。

【A】 それぞれの契約物件を忘れないうようにするために、備忘価格1円として残し、除却や売却の際になくすという形をとっています。

【Q】 賦課金の面積割について、国調が入る前後で面積が著しく違う場合の面積割は、国調後の面積に合わせて徴収するのか。また、東由利地区では国調前後で面積に大きな違いがあると聞いたのだが、組合ではどの程度把握しているのか。

【A】 賦課金は国調の前後に関わらず、組合員の方が自己申告された面積で計算していますので、国調が入り面積が変わった場合は、訂正の申告をいただき、それを基に賦課金も訂正することになっています。国調前後の違いについては、個人情報保護の観点から現在市から情報を得ることができませんので、当組合で把握している情報は、組合員からの申請による情報のみです。



# 地球温暖化防止緑づくり植樹祭



5月13日（木）、西目地域で地球温暖化防止緑づくり植樹祭が開催され当組合も参加いたしました。

この植樹祭は、市が地球温暖化防止を目的に旧西目町時代の昭和33年から毎年続けているものですが、新型コロナウイルス感染症の影響により2年ぶりの開催となり、地域住民や市内の関係団体、その他関係者等を合わせておよそ50名が参加しました。

この日は、背丈20cmほどのアカマツの苗木が800本準備され、参加者は植樹のために事前に掘られた穴に苗木をひとつひとつ丁寧に植えていきました。

西目地域ではこれまでに山にスギやマツ、公園に桜や広葉樹などを20万本以上植えており、平成13年頃からはマツクイムシの被害にあった防風林を復活させようとクロマツの植樹も行われています。

参加者からは「村から町へ変わって40年ほど経ったが、変わらずに続けている取り組みなので、これを絶やさず次代へ受け継いでいかなければならないと思っている」と話し、再造林放棄が問題になっている昨今、地域の林業を担う我々森林組合もこういった植樹・植林の流れを先導していかなければならないと感じました。



## 世界的な木材価格高騰現象 「ウッドショック」とは？

新型コロナウイルス感染症流行から1年余りが経過し、国内でもようやくワクチンの配布が開始されましたが、依然として大都市では緊急事態宣言が継続されるなど予断の許さない状況となっています。そんな中、木材業界でもコロナ禍を背景としたある問題が生じ、住宅業界を中心に大きな混乱が起こっています。それが「オイルショック」ならぬ「ウッドショック」と呼ばれる現象です。

コロナ禍によりアメリカでは住宅着工数が増加していることに加え、早期に感染拡大を抑え込んだ中国でも経済回復のために木材需要が拡大していることや、巣ごもり需要でコンテナ物流が増えたことによるコンテナ不足、海外からの貨物船の減便、港湾労働者の不足など複数の要素が絡まって大きな騒動となっています。

この影響なのか国産材の需要も高まっており、木材の仕入れ値が国産・海外産ともに昨年と比較して2割ほど値上がりしています。しかし、日本国内の木材自給率は2019年時点で37.8%と未だに輸入依存状態であることは否めません。これは戦時・戦中の大量伐採のために長年輸入材に頼らざるを得なかったという事情があったのですが、その間に国内の林業は衰退の一途をたどり、回復してきたのはここ20年ほどです。衰退期の輸入材への依存は国内林業の産業化を遅らせ、従事者も長期に渡って減り続けたため、適切に管理されていない森林も多く、この状況ですぐに国産材の供給を増やすことは困難であり、結果的に輸入材と国産材の木材不足や価格高騰を招いています。輸入材は「必要なものを、必要なときに、必要な量だけ」という消費者のニーズを長年満たしてきましたが、本来の木材生産は「伐って、使って、植える」という長期的な計画が必要です。今回の騒動をきっかけに、消費者レベルでも木材の現状に危機感を持ち、また我々森林組合もこの難局を乗り切るべく、組合員に寄り添った森林経営ができればと考えております。

# 令和3年度 造林補助事業について

今年度も組合員の皆様のご理解を得ながら森林整備事業を推進して参りますのでご協力をお願いします。  
注) 下記のとおり採択要件がありますので作業前に必ず各支所にご相談ください。

## 1. 補助金を受けるための採択要件

下記の補助金を受けるためには、「森林経営計画の認定」が必要となります。

※1 施行地 0.10ha以上の実施が必要です。

### 所有者自ら作業を行い補助金を受ける場合

補助金申請をする際に次の写真データを提出する必要があります。

写真データの無いものは申請ができなくなりますので、作業前に必ず各支所へご連絡をお願いします。

(連絡が無く作業を進められた場合は補助金を受けることができません。)

①着手前状況写真 ②完成後の写真 …… 面積に応じた枚数が必要。

※写真データには位置情報が必要となりGPS機能のあるデジタルカメラで撮影する必要があります。

## 2. 令和3年度 造林補助事業種別補助金額 (森林環境保全直接支援事業)

作業種	対象林齢	採択要件・留意事項等	補助金額 (1ha当り)		備考
			組合作業	所有者作業	
植栽	スギ	<ul style="list-style-type: none"> <li>区分 (スギ・マツ) ①植栽本数 1,500~1,799本/ha (スギ・マツ) ②植栽本数 1,800~2,099本/ha (スギ・マツ・広葉樹) ③植栽本数 2,100~2,399本/ha (スギ・マツ・広葉樹) ④植栽本数 2,400~2,699本/ha (スギ・マツ) ⑤植栽本数 2,700~2,999本/ha (スギ・マツ) ⑥植栽本数 3,000本/ha以上</li> <li>枯損率 20%未満</li> <li>再造林、拡大造林の区分無し</li> <li>広葉樹A：苗高 50cm以上</li> <li>広葉樹B：苗高 100cm以上</li> <li>広葉樹C：苗高 150cm以上</li> </ul>	523,000 ~837,000	410,000 ~656,000	※普通苗
	マツ		444,000 ~680,000	348,000 ~533,000	
	広葉樹A		1,159,000 ~1,295,000	908,000 ~1,014,000	
	広葉樹B		1,763,000 ~1,985,000	1,382,000 ~1,556,000	
	広葉樹C		2,733,000 ~3,093,000	2,142,000 ~2,424,000	
下刈	7年生以下	<ul style="list-style-type: none"> <li>区分</li> <li>下刈A：連年型 下刈B：隔年型</li> </ul>	162,000 ~181,000	127,000 ~142,000	
雪起こし	2~15年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>雪圧倒伏率30%(6年以上は50%)以上で採択</li> <li>区域面積×被害率=実施面積で申請</li> </ul>	136,000	107,000	
枝打ち	11~30年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕上げ幅 1.0~2.0m未満</li> <li>2.0m以上で区分 (地上高6.0m以下)</li> <li>実施本数 500本~2,000本/ha</li> </ul>	40,000 ~264,000	31,000 ~207,000	
除伐(刈払)	11~25年生 天然林は40年生まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>刈払率 100%以上</li> <li>過去5年以内に補助金を受領していないこと</li> </ul>	116,000	91,000	
保育間伐	35年生以下又は伐採対象木の 平均胸高直径18cm未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>伐採本数率 20%以上</li> <li>過去5年以内に補助金を受領していないこと</li> </ul>	48,000 ~116,000	38,000 ~91,000	
間伐	11~100年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>伐採本数率 20%以上</li> <li>伐採材積率 35%以下</li> <li>標準単価 10m<sup>3</sup>~80m<sup>3</sup>/haで10m<sup>3</sup>刻み</li> </ul>	120,000 ~396,000	94,000 ~310,000	
更新伐	11~90年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>伐採本数率 56%以上</li> <li>2年経過後、更新完了の確認必要</li> </ul>	69,000 ~739,000	54,000 ~579,000	
間伐・更新伐 共通		<ul style="list-style-type: none"> <li>5ha以上の集約化かつ10m<sup>3</sup>/ha以上の搬出必要</li> <li>過去5年以内に補助金を受領していないこと</li> <li>材積が確認できる納品伝票等必要</li> <li>間伐と更新伐あわせて5ha以上で申請可</li> </ul>			
森林作業道	上記の作業に係わる 作業道の開設	<ul style="list-style-type: none"> <li>土構造を基本とし、繰り返しの使用に耐えるもの</li> <li>幅員(2.0/2.5/3.0)m×地山勾配で区分</li> <li>最急縦断勾配 30%(11.9°)/100m以内</li> <li>※路網密度150m/ha以下</li> </ul>	667 ~1,898	524 ~1,488	m当



◇今号では、近年話題の「SDGs」と森林・林業・木材産業との関係性についてご紹介します。

## SDGsとは

「Sustainable Development Goals」の略で、日本語では「持続可能な開発目標」と言います。2015年9月に開催された「国連持続可能な開発サミット」で「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030のアジェンダ」として採択されました。2016～2030年までの15年間で世界が達成すべきゴールを表したもので、17の目標と169のターゲットで構成されています。



森林・林業分野では、「SDGs実施方針」に定める8分野中4分野の施策に該当し、「林業の成長産業化」や「森林の多面的機能の発揮」等により、目標15「陸の豊かさを守ろう」を中心に、14の目標達成に貢献するとしています。

## 国内で多様化する森林との関わり

### 1. 森林の整備に関わる取り組み（目標6,8,9,11,13,14,15）

- ▶ 地球温暖化等への関心の高まりからNPOや企業等の森林整備活動への参加が増加
- ▶ 測量やIT関係企業等の森林・林業以外と連携したプロジェクトの実施も行われている

### 2. 森林資源の利用に関わる取り組み（目標2,7,8,9,11,12,13,15）

- ▶ 木材の温かみや地域活性化への寄与を考えた、各施設の木造化・木質化への動き
- ▶ プラスチックや金属等の代替材料として、木の主成分を原料とした新たなバイオマス素材の開発
- ▶ 再生可能エネルギーの一つとして、木質バイオマスエネルギーの利用も拡大
- ▶ 集荷、加工等の必要性による雇用の創出
- ▶ きのかや漆、ジビエ等山の恵みを活用する取り組みも活発化

### 3. 森林空間の利用に関わる取り組み（目標3,4,8,9,11,12,15）

- ▶ 森林内でのアスレチック、ツリーハウスの設置等によりレジャーの幅も拡大し、林業体験や森林散策等のプログラムを組み、誘致する取り組みも
- ▶ 生活習慣病等の疾病予防・健康づくりにも森林を利活用する動き
- ▶ 乳幼児の自然保育や小学生の環境教育等、森林を教育に活用する取り組みも拡大

## SDGsから見た林業・木材産業の役割と課題

### 1. 持続可能な森林経営（目標13,15）

- ▶ 環境へ配慮した計画的な間伐等の森林整備が必要
- ▶ 立木価格の低下による森林所有者の再造林の意欲低下
- ▶ 利益還元のための、施業低コスト化や、川中・川下と連携した取り組みが重要

### 2. 合法性や持続可能性に配慮した木材の調達（目標12,15）

- ▶ SDGsへの関心の高まりから、施工業者や発注者から木材の合法性を問う動き
- ▶ 合法性の担保には、「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」（クリーンウッド法）に基づく確認や事業者登録の更なる活用が重要
- ▶ 合法伐採木材や森林認証材等を求める傾向は更に強くなると考えられ、適切な供給体制の構築が求められている

### 3. 林業従事者の安全確保（目標4,8,9）

- ▶ 生産年齢人口の減少が見込まれる中、安全で働きやすい魅力的な職場づくりがこれまで以上に重要
- ▶ 現場作業の反復練習やリハーサル機材の活用等で、伐倒技術の向上や安全動作の確認を進める

### 4. 女性参画（目標5,8）

- ▶ 林業の女性従事者は男性と比べて大きく減少してきたが、機械化を背景に伐木・造材・集材従事者は増加
- ▶ 女性従事者の雇用が全従事者の環境改善の契機になる面もあり、定着率の向上も期待

# 木材市況情報 (令和3年)

単位：円、上段（石当り価格）  
下段 m 当り 価格

樹種	材長 m	径級 cm	4月5日			5月7日			6月2日		
			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
			高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格
スギ	3.65	14下							(2,547) 9,171	(2,346) 8,449	(2,542) 9,154
		16~22	(3,301) 11,887	(3,209) 11,554	(3,256) 11,725	(3,349) 12,059	(3,319) 11,951	(3,340) 12,025	(3,529) 12,707	(3,496) 12,587	(3,507) 12,626
		24~34	(3,611) 13,000	(3,471) 12,498	(3,500) 12,601	(3,550) 12,780	(3,512) 12,646	(3,537) 12,736	(3,699) 13,319	(3,500) 12,600	(3,663) 13,190
出材量・販売量・販売率			675m <sup>3</sup> (2,430石)・675m <sup>3</sup> (2,430石)・100%			570m <sup>3</sup> (2,052石)・570m <sup>3</sup> (2,052石)・100%			722m <sup>3</sup> (2,599石)・722m <sup>3</sup> (2,599石)・100%		
<p>4月：量産工場と山形県勢が旺盛な買い意欲で完売。単価は強含みでこの傾向はしばらく続きそう。特に16~22cmの単価が上昇し、11,800円前後。</p> <p>5月：量産工場、山形県勢が買い気旺盛の中、強い引き合いで完売。すべて強含みの推移。16~22cmで12,000円。24~34cmで12,780円前後。</p> <p>6月：製品の引き合いが非常に強くなっていることに加え、原木不足感があり、強含みで完売。特に山形県勢が量をまとめた。しばらくこの傾向が続きそう。</p>											

## 令和3年度 新採用職員 の紹介

4月1日より新しいメンバーが加わりましたのでご紹介します。



う さ み みつき  
**宇佐美 充輝**  
● 本所造林班 ●

学んだ技術を活かし、  
組合に貢献できるように  
頑張りたいです。



たかだ ゆうと  
**高田 裕渡**  
● 本所造林班 ●

一步一步前進するため  
に、木を一本一本大事に  
扱いたいと思います。



森林組合だより 令和三年六月三十日発行 印刷・筒由利印刷

### 人事異動のお知らせ

● 令和3年4月1日付

#### 【職員】

矢島支所主査

阿部 正輝

#### 【技能職員】

造林課（本所造林班）

藤原 巧

林産販売課（木材流通センター）

佐々木 聖

林産販売課（矢島林産班）

齊藤 優介

### 退職者のお知らせ

● 令和3年3月31日付（定年）

#### 【職員】

参事

岡本 善広

4月1日付（再雇用）

林産販売課長補佐

佐々木 千香子

4月1日付（再雇用）

● 令和3年3月31日付

#### 【職員】

矢島支所主事

伊藤 孝幸

#### 【臨時職員】

由利支所

佐藤 信子